

## 農地法第4条届出書記入要領

1. 「年月日」は届出年月日を記入し、「届出者」に届出者の氏名を記入してください。押印は必要ありません。

共有により届出者が複数あるときは各自の氏名・持分を列記してください。（下の届出者の住所についても同様です。）なお、〇〇外〇名と記入して別紙を添付しても差し支えありません。

共有者の同意を得て一人で転用する場合は、他の共有者の同意書を添付してください。

2. 「届出者の住所等」については住民登録をしている住所を記入してください。届出地の登記事項証明書に記載されている住所・氏名が現住所・氏名と合致しない場合は、更正登記後の登記事項証明書を添付するか、または、更正登記に必要な書類（同一人と確認できる住民票または戸籍の附票等）の添付が必要です。

（注）届出者が相続による権利移転の登記を了していない場合は、真の相続人であることを証する書面等を添付してください。

3. 「土地の所在等」の「土地の所在」・「地番」・「面積」は登記事項証明書と合致させてください。

「地目」の「登記簿」には登記事項証明書に記載の地目を、「現況」には現況地目（田・畑）を記入してください。

「土地所有者」は届出者の氏名・住所を記入し、共有の場合は全員の氏名・持分・住所を記入してください。「耕作者」は「同左」と省略してもかまいません。（なお、小作地に係る転用届出の場合は小作権者を記入してください。その場合は土地所有者の同意書を添付してください。）

「計」は面積の合計を、また、現況地目ごとの面積の合計もそれぞれに記入してください。

届出地及び届出者が複数の場合は、別紙を添付しても差し支えありません。

4. 「転用の目的」は具体的な施設名・用途等を記入してください。

例…（個人住宅・宅地拡張・進入路・露天駐車場・倉庫等）

5. 「工事中工時期」は転用に着手しようとする日であり、受理予定日以降の日付を記入するか「受理後」と記入してください。「工事完了時期」は転用目的どおりに供する予定の日付を記入してください。

6. 「事業又は施設の概要」は下記のように具体的に記入してください。

施設（建築物・工作物）のある場合はその名称、棟数、延面積を記入してください。

例…（〇造〇階建・〇戸・延面積〇〇〇㎡ 等）

施設（建築物・工作物）の有無に関わらず造成方法を記入してください。

例…（盛土〇〇cm 等）

（分譲宅地は区各数・1区画当たりの面積 等）

事業又は施設に係る取水・排水施設等は施設の有無に関わらず具体的に記入してください。

例…（取水は松山市上水道・排水は〇側水路へ放流、取水なし・自然排水 等）

施設（建築物・工作物）を共有で建築する場合は、施設の各持分を記入してください。

7. 「被害防除施設の概要」については、被害防除に有効かつ可能な措置を講ずることを前提とし、具体的に記入してください。特に必要の無い場合は「無し」と記入してください。

（注）地元土地改良区・道後平野土地改良区での除外手続は、転用届出書提出前に済ませておいてください。